

喜界町立喜界中学校 ～八月踊りの伝承活動～



八月踊りは町内の37集落に伝承されている。特に、集落ごとに行われる「豊年祭」や「島あそび」の際に踊られており集落によって唄や踊り方に違いがある。また、踊られる行事も集落により異なっている。

八月踊りの特徴として、太鼓を持つのは原則として男性であり、皆が輪になり、同じ動きを繰り返しながら踊る。一昔前までは、唄者が実際に唄いながら踊っていたが、現在ではCDを音源として用いて踊っている。

喜界島郷土研究会が中心となって、各集落の八月踊りDVDを製作している。中学校においては、集落の方に直接指導を受けるが、はじめは踊りを覚えるためにこのDVDを活用している。集落によって唄や踊り方が違うため、毎年集落を決めて、その集落の八月踊りを行っている。

例年、喜界高校の生徒とも一緒に合同練習を行い、町民体育祭で発表している。毎年、該当する集落の方向に事前に指導をしてもらっている。体育大会等で八月踊りの発表を行うことについては、数十年と歴史が長く、八月踊りを楽しみにしている高齢者や地域の方も多し。